

が、ここ10年、20年は同じような体制できたと思っておりますが、それが必ずしも市民の負託にこたえられるような体制にはなっていないんじゃないかと。特に佐々木委員からありました産業振興と観光交流、これは本当に一つの課でできるような内容ではないと。ですから、こういったところも職員の資質の向上と、それから管理職の能力を生かすという意味でぜひ検討していかなくちゃいけない課題というふうに思っておりますし、あと私の方からは雇用とか、あるいは子育て、医療・福祉・介護、こういったいろんなテーマについて、最近ですとエコノミーゲーデニングとかってという言葉があるんですね。地元の企業をどういうふうに生かして雇用につなげるかという視点が企業誘致よりも優先しなくちゃいけないと、そのように思っておりますし、いろいろぜひ検討してまいりたいと思います。ありがとうございました。

○高橋孝夫委員長 以上で通告による総括質疑は終わりました。

これより細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いをいたします。

認第1号 平成21年度長井市歳入歳出決算認定についての質疑

○高橋孝夫委員長 それでは、認第1号 平成21年度長井市歳入歳出決算認定についての一般会計の歳入から順次質疑を行います。

まず、認第1号の一般会計の歳入部分について質疑を行います。事項別明細書の32ページから83ページまでであります。ご質疑ございませんか。

8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 福祉事務所長にお尋ねし

ます。

ページ数で39ページ、児童福祉費負担金でございますけれども、調定額が1億4,347万9,940円に対しまして収入済額が1億3,037万円、そして収入未済額が1,257万円ということで非常に大きな収入未済額がここに計上されているのではないかと。先ほど来から総括質疑で言われているように収納率というような問題では、やはりここも相当なものではないかというふうに思います。次の児童センター使用料も同じであります。そして一方では、認可保育園の運営費というようなことで3億7,000万円ほどの負担金というようなことで支出をしているわけですが、この未納につきましては、これまでも幾度となくこの決算委員会、その他で質疑をしてみました。やはり潜在的な一つの問題があるのではないかと。なかなかこの実が上がってこない、収納率の責務の中でその実が上がってこないというようなことは、どうもその組織の中の潜在的な問題点があるのではないかなというふうに私は思うのでありますけれども、その辺については福祉事務所長並びに市長はどのようにお考えになられているのか、お聞かせをいただきたいというふうに思います。

○高橋孝夫委員長 小泉良一福祉事務所長。

○小泉良一福祉事務所長 お答えをさせていただきます。

児童福祉費負担金あるいは児童福祉費の使用料というところでは収入未済額がかなりというか、ございまして、割合にすれば8.7%、調定額に対してあるわけでございます。この原因を私なりに考えてみますと、福祉事務所では直接徴収にということにはなっていなかったわけでございます。お聞きすれば、長井市全体で徴収に行ったときには福祉事務所も参加をしていたようでございますけれども、体制が変わった以降は行ってないというふうなことでございます。

その未納の方の状況というふうに見ますと、

長期的にお支払いがなっていない方がおるんじゃないかなというふうなことを思いますと、やはりその方にお伺いをして督促状というふうなものもちろん大切ではございますけれども、直接面会をしていくというふうなことが大事なのではないかなというふうに私なりに思っているところがございます。また、福祉事務所では、子ども手当のところでも前回議会でも申し上げましたが、児童手当と子ども手当のときに未納の方については直接現金支給をして、そのときにご相談をするというふうなこともやっているわけですから。そういったことも継続してやっていきたいなというふうに思っているところがございます。

福祉事務所としましても、税務課収納係と連携をしていかなければならないという認識ではあるわけがございますけれども、その徴収への体制とか、あるいはノウハウというんですか、そういったところもないところがございますので、課題かなというふうに思っているところで

○高橋孝夫委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

これは安部委員ご指摘のとおり、さまざまな課題があるんだろうというふうに思っています。まず第一に、先ほども蒲生委員、また佐々木委員からの総括質疑でもありましたように体制をもう一度整えてこういった税外の滞納を極力少なくするような対策をきちんと講じていきたいというふうに、まず思っております。

あとご指摘の例えば保育料、これは認可保育園の保育料ですね、それから学童クラブと児童センターと、これらについて、確かに子育ても大切でございますが、こういったところを放置するというのは非常に問題があると。ですから、やはりきちんと体制をとって、ちょうだいしていくということを徹底したいと。ただし、認可保育園につきましては、個人情報に関係もあつ

て、残念ながら認可保育園の方にご協力をいただくということができない状況にあるものですから、その部分を踏まえながら、やはり役所の中で福祉も収納の方も一体となったチームで対応していかなきゃいけないと思っております。

○高橋孝夫委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 確かに市長言うとおりに、子育てというような絡みでいけば、この分野につきましても余りそう目くじらを立てるようなことにはならないのかなというふうに思いますけれども、反面こういう時代だからこそ、その聖域を持つことなく、いただくものはいただいて、よりよいそうした子育ての雰囲気といいますか、よりよい風を当てるとというのがやはり要求されるのではないかとこのように思っております。

先ほど来のこの話を聞いておりますが、税につきましてもいろいろな制度やいろいろなあると。そして滞納者が2,000人というような、そういった中で職員の対応をする数といいますか、そういったものが足りないと言いますけれども、例えば認可保育園の滞納分と現年度分合わせると1,200万円あるんですけども、滞納者、未納者というのは滞納分は33名なんです。それから前年度分の認可保育園の未納者というのは51人なんです。これすらもそのお願いをできないというようなことでは、先ほど福祉事務所長が言いましたように、一緒に同行しないという体制的にかわってしまったというようなことが一つあるということもありますけれども、この新年度にたって半年もたつ中でそういった体制もとれない、そういったこともその福祉事務所内で発言もできない、これではおかしいのではないかなというふうに思いますよ。

例えばですよ、これ長井市が社会福祉協議会に委託してはなぞの、清水ですけども、滞納分、はなぞのは200万円です。それが現年度分ではなぞのが54万7,000円だと、これ13件なんです。こういったところになぜ福祉事務

所、そういった係が総出でお願いをしていく、訪問するというようなことできなかったのかなと。これ何回、4年以上、またいろんな議員の方もこれ質問されていますけれども、やはりそういう潜在的な問題が今あるんじゃないかと。それを早目にやはり解決して、この未納というのをなくすという努力が一つも見えないんですよ、市長。

さっきの福祉事務所長の答弁って何言ってるのか全然わかんないですよ。これでは、私はいかがなものかなと。松木英司税務課長の話でいきますと、何千件というのあればそれはそれでやむを得ないです。ところが、たったの50件ですよ。これすらもお願いにも行かない、訪問もしない、それではおかしいんじゃないかなと思いますけども、その辺につきましていかを感じますか、市長としては。

○高橋孝夫委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 ぜひ安部委員のご指摘の部分はごもっともでございますので、今後に向けて対応してまいりたいと思います。

○高橋孝夫委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 ぜひ今後こうしたことがまた繰り返し質問ないようにその実を上げていただくようにひとつお願いをしたいというふうに思います。終わります。

○高橋孝夫委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の一般会計の歳出について質疑を行います。

まず、1款議会費、2款総務費について質疑を行います。86ページから117ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、3款民生費、4款衛生費について質疑を行います。116ページから149ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、5款労働費、6款農林水産業費について質疑を行います。148ページから167ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、7款商工費、8款土木費について質疑を行います。166ページから191ページまでであります。ご質疑ございませんか。

17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 商工観光課長にお聞かせ願いたいと思います。

地場産業振興センター支援事業の資料で成果報告書を今開いてるんですけども、成果報告書の方では63ページです。議案書の方では169ページですね。この中に指標名及び21年度実績値というふうに書いてますね。イベント開催25回、集客数・施設利用者数7万3,000人、実績イベント回数19回、集客数・施設利用者数7万1,471人こういうふうに書いていますけれども、これ、どういうふうな意味を言っているんでしょうか。まず、それを1点お聞かせ願いたいのと、今回タスの底地を買ってくれというようなところの文書の中に、利用者数1万5,000人と書いてありましたね。それとここの7万……。

○高橋孝夫委員長 15万人です。

○17番 蒲生吉夫委員 ああ、15万人ですね。この7万3,000人というのは入っているんでしょうか、いないんでしょうか。それについてお聞かせください。

○高橋孝夫委員長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 お答えいたします。

成果報告書の指標としてのイベント回数、それから集客数につきましては、年間の地場産業振興センターが共催等まで含めてのイベントを開催した数でございます。集客数につきましては、それに係る集客人数でございます。

商工会議所の要望書の15万人というのは、通常のホテルあるいは食事等々まで含めた数字というふうに考えてございます。

○高橋孝夫委員長 17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 すると、その15万人の中にはこの7万3,000人というのは含まれていない、こういう理解の仕方ですか、今の説明でいくと。

○高橋孝夫委員長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 商工会議所さんの方の15万人という数字自体は全体としての利用者であろうというふうに考えます。15万人の中にこの7万3,000人が含まれているのではないかと、いうふうに考えております。

+ ○高橋孝夫委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、9款消防費から13款予備費までの質疑を行います。192ページから235ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の国民健康保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。238ページから263ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。266ペー

ジから277ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。

280ページから287ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。

290ページから293ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。296ページから303ページまでであります。ご質疑

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。306ページから309ページまでであります。ご質疑

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の介護保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。312ページから

333ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の浄化槽事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。336ページから343ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の用地特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。346ページから349ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。352ページから359ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の定額給付金給付事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。362ページから365ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

以上で認第1号の質疑を終結いたします。

認第2号 平成21年度長井市水道事業会計決算認定についての質疑

○高橋孝夫委員長 次に、認第2号 平成21年度長井市水道事業会計決算認定についての1件に

ついて質疑を行います。ご質疑ございませんか。17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 上下水道課長にお伺いをいたします。

403ページ、403ページというのは事業報告書ですね、給水状況についてここに克明に書かれています。この中で、「有収率は前年と同じく82%と変わりませんでした」と、こういう報告ですね。ここの部分というのは老朽管、石綿セメント管と呼んでましたけれども、の交換をすると同時に私はここの部分上がっていくものだというふうに信じて疑わなかったわけですが、90%はこういった今でもこの有収率は上がらなかったというのは、原因がどこかわからないと言っているんですね。だけれども、ずっとこれまで交換し続けてきて上がらなかったわけで、そろそろ原因特定してないとぐあいが悪いのではないかと私は思うんですけれども、いかがでしょうか、これについて。

○高橋孝夫委員長 鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 お答えいたします。

石綿セメント管更新事業については、13年から10カ年計画というようなことで、約9割の完成に達しておりますが、実質布設がえした部分については漏水箇所はないものと思っております。ただ、昭和時代あるいは平成の初めのころの塩ビ管の布設で、ソケット部分といいますか、昔はソケット部分を継ぎ手というような格好でのりづけをしておったというようなことでございまして、それがやっぱり経年劣化というようなことで老朽化しまして、その辺からの漏水もあるというふうなことで、現在も漏水調査等も行いながらやっておりますが、そういった報告もいただいているところでございます。

なお、今後につきましては、漏水調査の方をブロックごとやっているわけですが、継続実施をいたしまして早期発見をしてできるだけ漏水量を少なく抑えるようなことで考えていきた

+

いと思います。

また、塩ビ管等の布設箇所についても今後の更新計画等もこれから計画を立てなければならぬというふうに考えているところでございます。

○高橋孝夫委員長 17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 そういう気持ちはよくわかりますけれども、あと残ってる10%をやっていけば有収率が上がるんだろうかと、その保証がないんですね、これ。なので、有収率が上がらない原因は、その老朽管の布設がえでないんじゃないんでしょうかと。すると、どこの地域ともみんな水道事業やってるわけですから、この仕事に携わっているプロの皆様方は当然わからなきやいけない問題じゃないんでしょうかという意味なんです。あと10%やって有収率が上がるなんてちょっと考えられないですね。その意味で原因特定になってないんじゃないですかと。ほかに考えられることはないんですかというふうに聞いてるんですね。

○高橋孝夫委員長 鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 お答えいたします。

確かに前年度、20年度と21年度の有収率を見ますと、同じであります、それまでの経過として、やっぱり有収率の方も向上してきていますし、残り10%というふうなところでもなかなか有収率が上がらないというふうなところもあるかと思えます。ただ、石綿セメント管についてはそうやって更新になりますので、その辺からの漏水はないと思いますが、現実的に最近では給水管、個人の家には引いてる給水管箇所の漏水箇所も大分ございますので、そういったところからの漏水もあっての有収率が実質上がってこないというような状況でございますので、その辺を修理をしながら有収率の向上に努めたいと思います。

○高橋孝夫委員長 ほかにご質疑ございませんか。
8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 433ページの広告料、ボトルドウォーター製作用料ということで、非常に好評なボトルドウォーターであったというようなことで、今年度も本数をふやしながら販売しておるわけですが、この猛暑という中ではどのような今年度の状況であるのか、また今後これを宣伝も含めて拡大しながら販売強化というようなことを考えているのか、お聞かせをいただきたいというふうに、上下水道課長。

○高橋孝夫委員長 鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 お答えいたします。

ボトルドウォーターっていうようなことでございますが、21年度の実績につきましては製造総本数が5,000本つくっております、そのうち販売総数につきましては3,479本、PR用として無料配布したのが1,711本でございます。各市内の自動販売機、公共施設の自動販売機等に置いていただいております。そのほか直接水道事業所の方にも注文がございます。22年度につきましては、確かに猛暑っていうようなところがございましたが、実質自動販売機等での販売をやっておりますので、通常年と変わらないぐらいの注文状況でございます。

なお、今後につきましては、製造してまだ2年、3年目というような状況でございますので、まだまだPR不足かなというところも感じておりますので、もう少し製造しながら長井のおいしい水をPRしていきたいというふうに考えております。以上です。

○高橋孝夫委員長 ほかにご質疑ございませんか。
内容重治市長。

○内容重治市長 上下水道課の方で今答えましたが、そのほかに今年度は地場産業振興センターで1万本製造しております。これは、PRということじゃなくて少しでも採算合うようにということで、500ミリから350ミリと量を少なくしまして、残念ながら水道事業所のボトルドウォーターについてはPRということなんです

が、地場産センターの方は少しでも、利幅は本当に少ないんですけども、そんなことをしながら実験的に販売しております、ぜひ今後とも水道事業所と連携とりながら、販路が一番だと思いますが、設備投資も含めて検討する価値はあるというふうに思っております。

○高橋孝夫委員長 ほかにご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

平成21年度各会計決算認定についての表決

○高橋孝夫委員長 これより討論、表決であります。ご意見のある方は、本会議においてご発言いただくこととし、この際、討論を省略し、直ちに採決をいたします。

まず、認第1号 平成21年度長井市歳入歳出決算認定についての1件について採決いたします。

認第1号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○高橋孝夫委員長 起立全員であります。よって、認第1号は、認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第2号 平成21年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について採決いたします。

認第2号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○高橋孝夫委員長 起立全員であります。よって、認第2号は、認定すべきものと決定いたしました。

以上で決算特別委員会に付託になりました案件の審査はすべて終了いたしました。

最後にお諮りをいたします。

本委員会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第102条の規定により、その整理を委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋孝夫委員長 ご異議なしと認めます。

よって整理を要するものについては、その整理を委員長に一任することに決定いたしました。

また、来る22日の本会議における本委員会審査報告の文案につきましても、私に一任くださるようお願いをいたします。

閉 会

○高橋孝夫委員長 決算特別委員会はこれをもって閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午後 4時19分 閉会

会議録署名

臨時委員長 鈴木 武 次

委員長 高橋 孝 夫